

平成 23 年度 地域社会雇用創出協働事業

「市民農園による耕作放棄地及び休耕地の解消及び農地活用普及」事業

はじめに

当法人は、『後世に伝えるまちづくりをみんなの手で！』を合言葉に、環境保全や景観に関する活動、市民ワーキングなどを開催してきました。主な活動の「嫁ヶ島に歩いて渡ろう」「嫁ヶ島草刈り」では平成18年に島根県より「第13回しまね景観賞―活動部門の奨励賞」を、「宍道湖夕日スポット」では平成20年に「第15回しまね景観賞―宍道湖夕日スポット」の大賞を受賞しました。これらの活動の中で、次の世代に伝える生活の場として、「環境」や「アメニティー」、「安全」や「安心」、「楽しさ」そして「やさしさ」などをキーワードに地域の人々が『自分達のまちづくり』を主体的に考えられる活動のさらなる推進の必要性を痛感しました。その中で、当法人の活動理念である「安心・安全な生活」とは何かと考えたとき、CO₂削減活動のための緑資源の保護と再生、またこれらを解決する具体的な行動として、昨今、食料自給率の問題なども指摘され、注目を浴びている「農業の再生」や「食品への信頼性を担保する為の地産地消や自給自足」の可能性を広げる活動を実行すべきだと考えました。

私たちの住む松江市の都市近郊農地の実情は、農業従事者の高齢化や後継者不足、安価な外国産野菜の流通による価格下落により農業離れが加速し、いたるところで耕作放棄された田畑が見られるようになっていきます。

国（農林水産省）では、食の自給率向上を目指し、耕作放棄地の解消に向けた対策を推し進め、島根県においても県及び市町村段階に耕作放棄地対策協議会を設置され、各地区で事業が進められています。

そうした中、開拓パイロット事業で整備されながら、時間の経過とともに耕作放棄地や休耕地が増加し、いわゆる「荒れた」状態になった「空山」地区を都市近郊の農地再生のシンボルとして、保全及び再生してCO₂削減と農業や食への地域の関心を高める事業を展開することとしました。

昨年、平成21年度には、しまね協働実践事業として、島根県と協働で耕作放棄地の再生及び環境保全を推進しました。そして、この活動で再生した農地を有効活用し、より多くの地域住民に耕作放棄地へ関心をもってもらえるよう、新たな事業を行うこととしました。それが、今年度の「大庭空山地区の再生農地を利用した市民農園の開設・運営」事業です。地域住民のみなさんに、楽しみながら耕作放棄地に実際に係わり、環境保全や農業、食に対して理解を深めていただけることを目指して活動を進めてまいりました。

平成 23 年度 地域社会雇用創出協働事業

「市民農園による耕作放棄地及び休耕地の解消及び農地活用普及」事業

1 事業の目的および活動内容

1-1 事業の目的

○耕作放棄地や休耕地を解消し農地として活かす

耕作放棄地や休耕地を農地として再生・利用することでCO2削減活動のための緑資源の保護と再生を行い、環境保全活動による地域住民、一般市民の環境保全への意識向上及び実際の行動へつなげる動機づくりを推進する。

当法人の活動拠点の松江市には、都市近郊の農地である「大庭空山」地区がある。この地区の荒廃した耕作放棄地や休耕地を、当法人は平成21年度しまね協働実践事業として、島根県と協働で耕作放棄地の再生及び環境保全を推進した。この活動により、当法人に農業や環境保全活動に対するノウハウが一定のレベルで蓄積されており、このノウハウを有効利用して、一般市民や地域住民の注目・認知を喚起し、「都市農地再生」のシンボルとして活動のエリアや規模を拡大することで、実際の耕作放棄地や休耕地の削減につなげる。

○農業体験を通じて消費者の理解を醸成する

都市近郊の農地を保全及び再生して、一般市民が利用できる市民農園を整備・運営することで、農業や食への地域の関心を高め、食料自給率向上及び地産地消の推進を行う。

耕作放棄地及び休耕地の再生及び環境保全を推進するモデルケースとして、再生させた農地で一般市民及び地域住民の積極的参画を促す事業を行う。本事業では、特定農地貸付法の枠組みで当法人が運営主体となる「市民農園」の整備および運営を行い、実際に一般住民に農地を利用してもらうことにより、「食」「農業」に対する啓蒙活動及び実際の行動促進を図る。

1-2 活動内容

H23 年度地域雇用創出協働事業 「行事年表」

月	日	事業内容	備考
4	15	23 年度協働提案書（提出）	
5	19	公開審査会（県庁 6 階講堂）	山本、柏井、黒田（同日採択決定）
	25	市「市民農園事業計画書等提出」	市稟議用として
	30	・市「同上協定書、契約書提出」 ・原 農業委員訪問、挨拶	快く受け止められた。
6	1	・農業委員会承認申請提出 ・ハローワーク求人開始 ・地権者 3 名「事業詳細説明」 ・地域農業委員「事業説明、挨拶」	比津町自治会長→他の農地でもお願いされた。 柏井、黒田
	2	現地測量	農業委員会提出用「区画計画図」 3 人
	5	求人広告	(株)メリット求人広告紙掲載
	6	竹下康人出勤開始	
	7	伐採作業	草刈機 2 台
	15	松江市農業委員会現場立会い	大谷様他計 2 名
	20	岩田泰隆出勤開始	
	25	楽しい農業体験&勉強会	
7	4	第 1 回社員研修	
	10	求人紙メリット比津農園利用者募集	折込
	13	ため池整備	松浦造園
	15	木材チップ搬入	松浦造園
	17	求人紙メリット比津農園利用者募集	折込
	23	・比津まちネット市民農園開園式 ・楽しい農業体験&勉強会	
	24	求人紙メリット比津農園利用者募集 「新しい公共」について考える研修会	島根県民会館
	25	第 1 回協働実践事業研修会	島根県職員会館
8	21	第 2 回社員研修	
	27	楽しい農業体験&勉強会	
9	4	求人紙メリット比津農園利用者募集	折込
	18	松江市環境フェスティバル	くにびきメッセ
	24	楽しい農業体験&勉強会	
	25	安来市環境フェア	安来市立体育館
10	2	求人紙メリット比津農園利用者募集	折込

2 協働に関する研修

2-1 第1回協働実践事業研修会報告書

テーマ：「10年後の島根県に求められる新しい公共を実現するために」
～協働と総働の基礎を再確認する～

日程：平成23年7月25日（月）10:00～16:00

会場：島根県職員会館2F 多目的ホール

講師：川北秀人（人と組織と地球のための国際研究所代表）

参加者：黒田、岩田、竹下

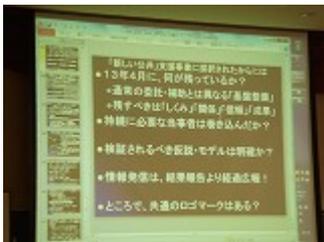
上記により、17事業（17団体+協働課の担当者）計57名の参加により、研修を行った。

新しい公共支援事業を実施するに当たり、

→●2年後（2013年4月または2012年4月）に向けて、何が残るかがポイント

- 残すべきは「しくみ」「関係」「信頼」「成果」
- 持続に必要な当事者を巻き込んでいるか
- 検証されるべき仮説・モデルは明確か？ 計画案は2～3種類 …… どれが残るべきか
- 情報発信は、 ×…結果 ○…経過報告

まずは、我々の取り組んでいる事業の位置づけや目標などの確認



【事業の目的と目標】

大目的：地主の意識変革→農地保全

<行為目標>

自治会・公民館等への活動PR

<成果目標>

地主の意識改革

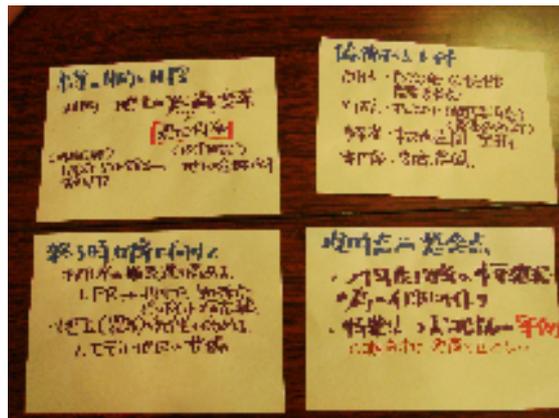
【協働すべき主体】

団体：自治会、公民館、農業委員会

行政：松江市（教育委員会、農業企画課）

事業者：松浦造園、宝箱

専門家：安藤農園



■ 勉強会当時の認識としては、販売不可と考えていたが、確認してみると余ったものは販売しても良いことが判明

■ 市民をただのお客様にしないためのしかけがありますか？

→イベント、勉強会を実施

利用者の口コミ活用が大きな効果があります。口コミの利用を考えてみては？

→口コミを増すために、豊富な勉強会を実施済み

■ (農家に) どのような意識になってもらいたい？

■ 意識改革を具体化するのにはすごく大変だと思います。参加者が明日から取り組める簡単マニュアルみたいなものを作れませんか？

→自分の農地を守ろうという意識を高める。体力的に不可能な場合、まちネットの代行サービスにゆだねる。

■ ■ ■ 回答を記入しなかったもの ■ ■ ■

■ 松江市が運営している市民農園の指定管理を受けてまとめてやったらどうでしょう。

■ 特区申請も考えられるのではないのでしょうか (国 or 県)

■ 農地保全を行うためには意識もそうですが、収入基盤・販売ルート確保についてはどうしますか？

■ 整備の際出てくる畑の草をどうするのか？

■ 市民農園でお金が廻るシステムができるのですか？

■ (農家を) どう意識改革するの？

■ モデル地区とは限られた区域のことですか？

■ 何割・何人の地主さんの意識が、どういう状況からどう変わるのか。成果目標ですか？定量的に。

■ 販売は無しですか

■ 対象エリアはどうか？

■ 重点的に取り組む解消策は？

■ 農地保全は意識だけでなく、自然体もあるのでは？

■ 継続のための利益確保と分配について考えておく必要があるのでは？

■ 自立の仕組みの具体性が欲しいです

■ 意識改革する仕掛けが不足しているのでは？

■ 意識改革した後の、実践のバックアップ等もあれば良いのではないのでしょうか

■ 将来人口等の数値把握

■ 農地の細分化が必要なところがあるのでは

■ 耕作放棄地が増えているので、ぜひやってほしい

■ 大目的は、地主の意識改革からその上の廃地の活用や町並み保全とされたらどうでしょう

■ 勉強会等のペースは月一回ですか？

■ 重点的な取り組み・改善が求められる他の場所 (数箇所) への調査も必ず年度内に (それが次につながる基盤)

■ 次年度に向けた冬季の活動はあるのですか？

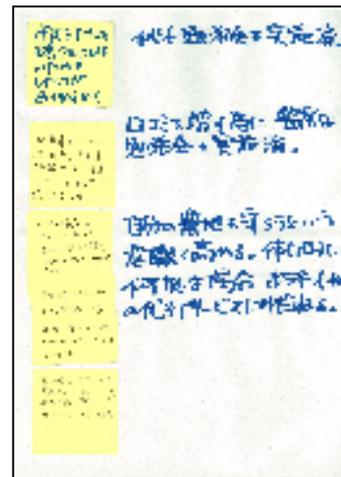
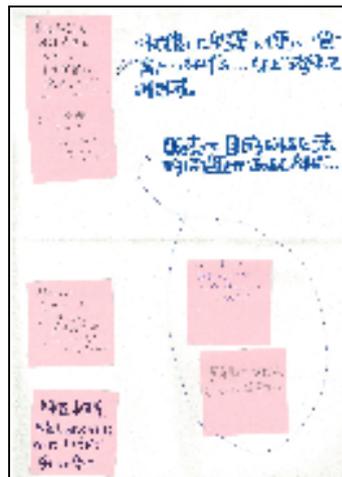
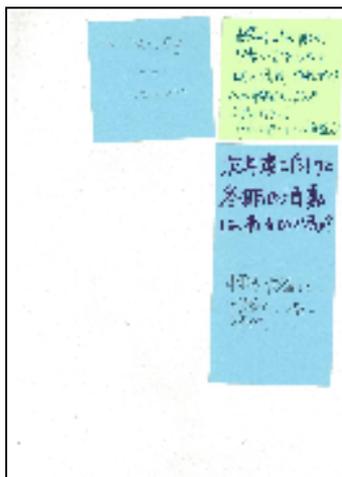
■ 事業外収益は問題ないと思います。

■ 我々として、2012年4月を迎えた時

- 1) 長く使える「基盤整備」がきちんと行われたか
- 2) 「しくみ」「関係」「信頼」「成果」を残せているかの2点がクリアされているかが大きなポイント。

	活動・事業助成	基盤強化助成
一言で言うと	現場で足りないものを補う経費	継続する力を高める準備を支える投資
助成する目的と対象	社会の課題や理想の実現を目的に、団体による活動・事業に対して助成	既の実績ある団体の運営の安定を目的に、基盤整備や次の準備に助成
期待される成果	活動・事業を通じた課題解決や理想実現とともにノウハウの提供なども。	課題の原因解消や人材の成長、中期的な「次の備え」の確立
求められる事業計画	対象（受益者）にとって最適な成果を生むための業務内容を詳細に。	社会にとって最適な成果を供給し続ける体制を整えるために、原因分析や予測を行った上で、組織の再編・人材の育成・他団体との連携など、現在の体制の効果的な見直しを具体的に。
実施責任者	現場の業務に責任を持つスタッフ	組織運営に責任を負う理事など。

【参加者の皆さんからの質問・意見の数々】



2-2 第2回協働実践事業研修会報告書

テーマ：事業実施上の課題や問題点などの整理

課題等解決のための検討

事業計画の見直し

日 程：平成23年7月25日（月）10：00～16：00

会 場：島根県職員会館2F 多目的ホール

講 師：川北秀人（人と組織と地球のための国際研究所代表）

参加者：黒田、岩田、竹下

上記により、17事業（17団体+協働課の担当者）計52名の参加により、研修を行った。



■当日は、事前に準備した報告書に基づき各団体が発表。その後、参加者からの意見・感想などに基づき事業計画の見直し（あれば）、見直し計画の発表となる。我々は基本、計画の見直しは行わなかったため、参加者からの意見・感想を下記に記す。（大雑把にテーマ・キーワードごとに分類）

【農家】

農家同士の交流イベントもされていますか？

ノウハウの無い農家に対して、サポートを行う点が良いと思います

農家から否定的な声が出ませんか？

市民農園化というのを農家などの理解をえられたということの要因は何ですか？

市民農園を農家主体でなく、窓口を作って運営していく点が面白いと思います

【耕作放棄地・遊休地】

耕作放棄地が増えているので、ぜひ行って欲しい

休耕地を活かす方法としてとても良いやり方だと思います

農地活用の重要性を広げて行って欲しい

遊休地が増加。環境整備のためにも多くの利用者を。

休耕地はどれほど解消されたのでしょうか？

何パーセントの休耕地が解消されたのか？

休耕地も対象でしょうか？イベント利用も考えてみては。

→当事業をモデルとして、他地域でも行ってください

【雇用】

若い方を引き込めないでしょうか？PR 先として学生さんの U ターンや I ターン組で仕事の無い方を引き込むことが出来ると良いのでは。

若者に何か手伝えることはありませんか？

雇用の継続性を教えてください

開設後、2名の職員の方はどのような仕事をされていくのでしょうか？

2名採用は事前に？公募等は？

→採択後公募

雇用の創出、具体的には？

2名の職員採用ということですが、人件費は本事業で支払っていますか？

農業について新規採用の職員と一緒に研修内容は？

→農に対する・・・肥料、薬

利用者に対する

【お金】

事業のコストはどうなっていますか？

→委託(補助)事業

農地提供者への報酬はありますか？あればいくらくらいですか？

地権者に対する支払いはしておられますか？

→なし

市民農園はオーナー制度ですか？それとも販売されるのですか？事業を継続するための収益事業はどのようなことを考えていますか？

【市民農園】

松江ではニーズがあると思います。成り立つ事業ですね。大田あたりでも潜在ニーズあるかもしれません。どうでしょう？

完売ということで、市民のニーズにピタリとあったということですね。休耕地を提供したいという地主さんもいらっしゃるということで需要と供給のマッチング、応援しています

市民農園がずいぶん定着してきたなあと思います

これからの農業・農地活用を JA も含めて考えていくことが出来ると良いのでは・・・

収穫祭など定期的にイベントをしても良いと思う。市民だけでなく企業とも連携しても良いかもしれない。農業をやってみたい人がいるかもしれない

市民農園に参加する人に対する継続研修はされますか？

市民農園の管理は誰がするのですか？

事業終了後、市民農園の維持管理はどうなりますか？

【その他】

公民館等を利用するだけでなく、連携して取り組みをしてはどうか

市民農園も良いですが、里山も入れてもらおうと良いと思います

市民農園に参加される人の区分（例えば他県の人など）を示してもらえれば、参加するターゲットが絞れるのではないのでしょうか。

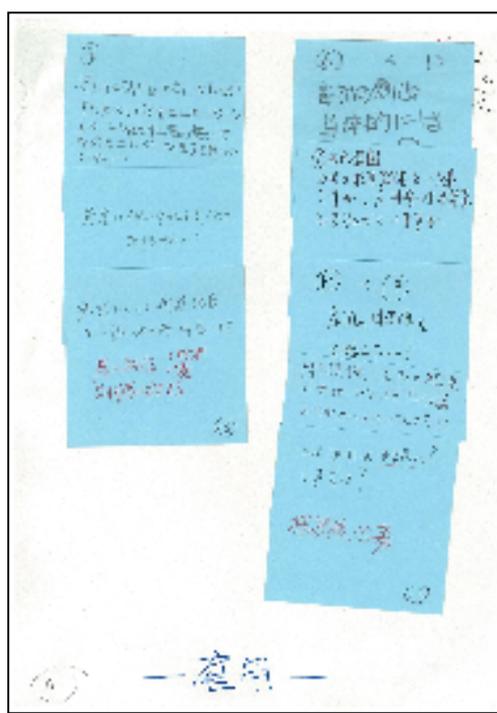
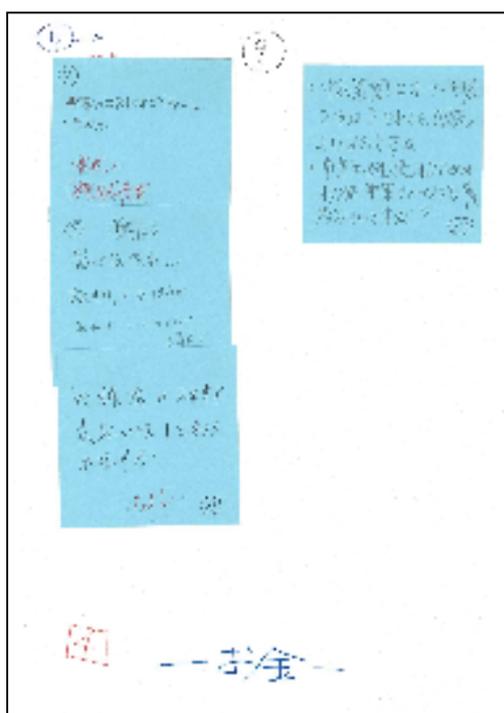
事業の進み具合がわかりやすかった

成果？希望者数？

遊休農地の有効活用。きちんと循環システムが構築されている

学校などとの交流はあるのですか？

－皆さんから頂いた質問・ご意見の一部－



3 市民農園開設準備

3-1 市民農園開設手続き

本事業における市民農園「比津まちネット市民農園」は、特定農地貸付法により開設するものである。規定の手順に従って手続きを行い、開設準備を行った。

●比津まちネット市民農園概要

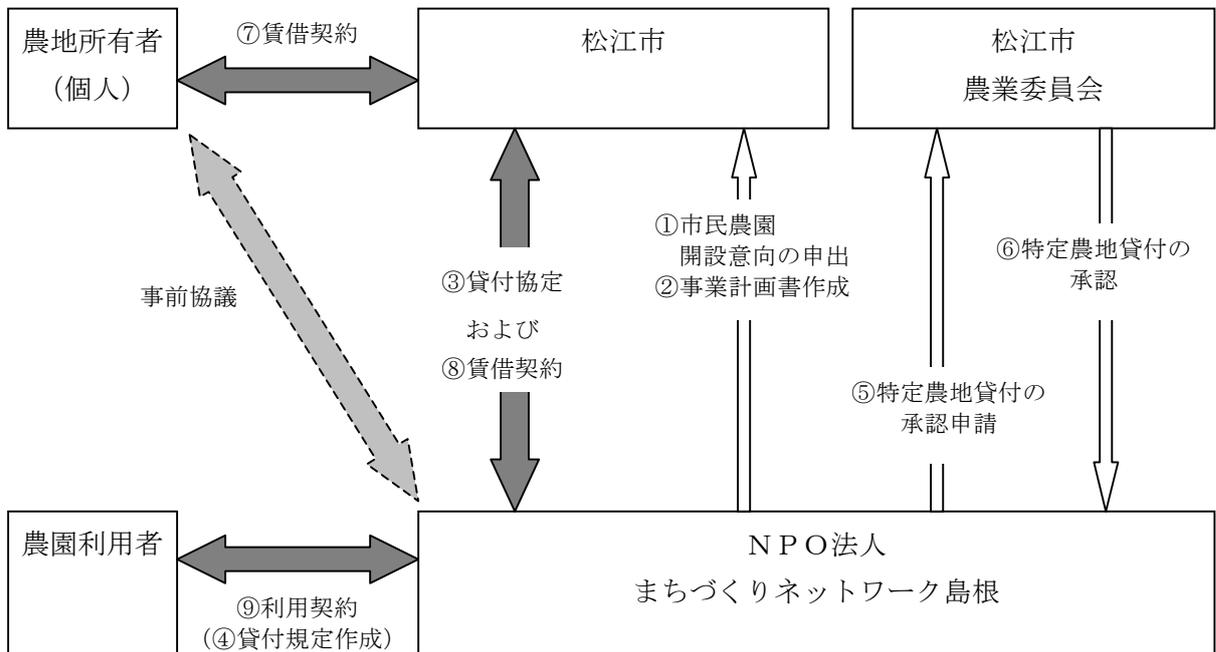
- ・ 区画：全 22 区画 1 区画約 30 m²
- ・ 利用料金：9000 円／年
- ・ 契約期間：1 年間（翌年以降の継続も可）

●特定農地貸付要件

- ・ 10 アール未満の農地の貸付で相当数のものを対象として定型的条件で行われること。
- ・ 営利を目的としない農作物の栽培に供するための農地の貸付であること。
- ・ 貸付期間が 5 年を超えないこと。

●「比津まちネット市民農園」開設における関係図

（番号は手続きの手順）



3-2 比津町まちネット市民農園開設までの歩み

- 5/19 島根県公開審査会 島根県の採択を受け、
- 5/30 松江市特定農地貸付法 賃貸契約書・貸付規定 提出
- 6/1 島根県との契約締結
- 6/15 松江市農業委員会現場立会い
- 7/1 松江市農業委員会の承認をいただき、農園整備作業に着手

【人の腰以上の高さの葛や雑草が群生】



【刈った草を次々焼却処分】



【はびこる葛の根に、草刈機の歯も悲鳴をあげる → しかし、なんとか伐採完了】



【荒起こしの後、区画整備を行うが・・・】



【ここでも葛や雑草の根が我々の行く手を阻む。】



【農業用水を供給するためのため池整備】



【通路用の木材チップや堆肥の搬入】 協力：松浦造園



【7/23 準備も整い、いよいよ開園式へ】



昨年度の大庭町空山に続き、橋北比津町にまちネット市民農園を開設することで、松江市の橋南橋北をカバーし、耕作放棄地・休耕地を所有する農家に対して、市民農園開設・運営に関する各種業務代行をNPO 法人まちづくりネットワーク島根が実施するよう展開いたします。

4 市民農園運営

4-1 利用者募集

市民農園利用者を募集するため、7月10日（日）より以下のことを行った。

- ・チラシへの掲載（5回）

安心・安全な“食生活”をわたし達の手で!
平成23年 地域雇用創出促進事業 (国規模農業体験課)
比津 まちネット市民農園 7/23(土)開園
利用者募集中!!

比津まちネット市民農園概要
1区画/約30㎡ 区画数/全22区画
利用料金/9,000円/年
契約期間/1年間(翌年以降の継続も可)
農薬用水/有り 農機具/各自持参
有機肥料/割引にて購入可

お問い合わせ
NPO法人 まちづくりネットワーク鳥根 0852-20-1821
〒660-0012 鳥根町比津古迫5-3-43
ホームページはこちら http://www.machi-s.com/ jimu@machi-s.com

- ・ホームページへの掲載

NPO法人 まちづくりネットワーク鳥根 0852-20-1821

イベント情報

比津まちネット市民農園

比津まちネット市民農園

比津まちネット市民農園

申込みフォーム

4-2 5月イベント「楽しい農業体験&勉強会」

日 程：平成 23 年 5 月 28 日（土）9：00～12：00

会 場：大庭空山まちネット市民農園（松江市大庭町空山地区）

参加者：18 名（大人 12 名、子供 2 名、理事・事務局等 4 名）



【春キャベツ】

- ※色が悪い
- ・排水が悪い
- ・追肥不足
- ・玉は冬キャベツより柔らかめ
 - 触ってみてふわふわ感がある

【たまねぎ】

- ・葉が倒れて 1 週間くらいで収穫（折れてから更に実が太る）

【きゅうり】

- 6～7 段目までの実は滴果する
- ・うどん粉病・・・乾燥すると発生しやすい
 - ・発生したら葉を落とす
 - ・丸い斑点が出る
- ・べと病
 - ・多湿で発生し易い
 - ・芯を止めると発生し易い

【なすび】

- ・1 番花に実を付けさせ小さめで採る
- ・石なす・・・受粉してない（小さくて硬い）
- ・受粉の助け・・・トマトトーン（成長ホルモン剤）の利用
 - 1 週間に 1 回（一度散布した花にはやらない）

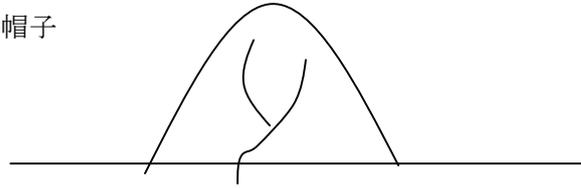
【とうもろこし】

- ・草丈 30～40cm で 1 回追肥
- ・雄花が出たら 1 回追肥

- ・虫（蜂）がいないと受粉の助けを要する
- ・朝取りが良い（甘くておいしい）
- ・冷蔵（チルド）すると甘くなる
- ・アワノメイ蛾に注意・・・とうもろこし用デナポン利用

【ピーマン、なす】

- ・低温障害がある・・・・・・・・苗帽子
- ・低温障害がある



4-3 6月イベント「楽しい農業体験&勉強会」

日 程：平成 23 年 6 月 25 日（土）9：00～12：00

会 場：大庭空山まちネット市民農園（松江市大庭町空山地区）

参加者：13 名（大人 6 名、理事・事務局等 7 名）



【玉ねぎ収穫】

冬場に養分を吸収。収穫は 2～3 日晴天が続いた時に実施。

種類：早生・極早生→保存性が悪い故に早く食べる。

：晩生→保存性が良い。

収穫は葉が倒れてから 1 週間以上寝かせて行う。（球太りさせるため）

【玉ねぎ保存方法】

根を切る

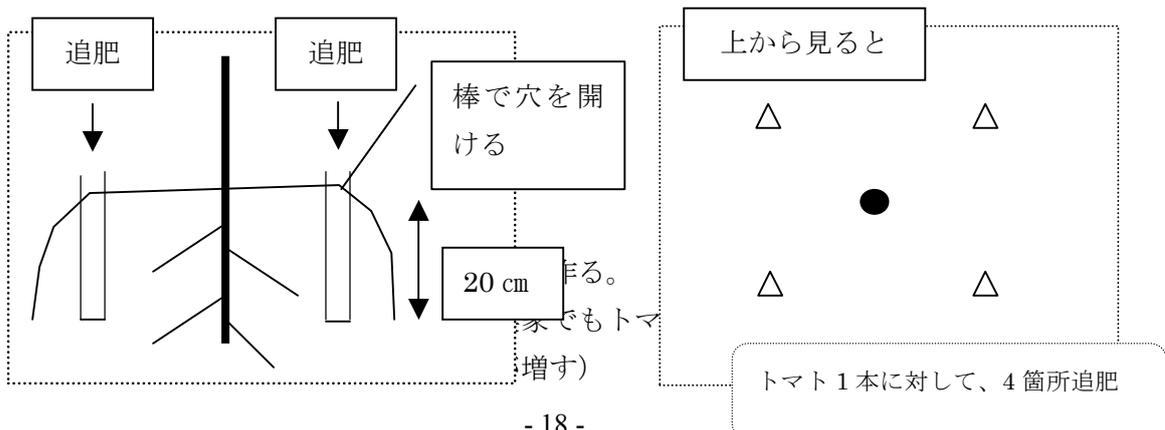
茎を 15 cm 残して切る（結束するため）

日の当たらない、風通しのいい場所で保存する。

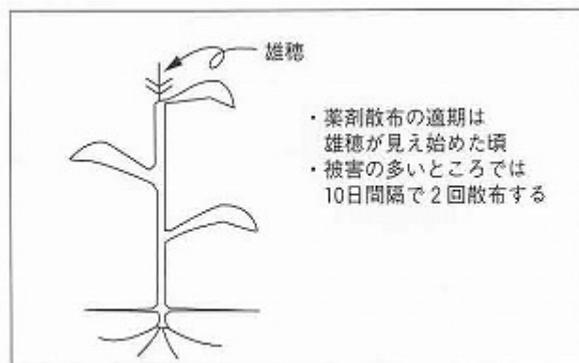
上記不可の場合、茎を切ってネットに入れて保存することもできる。

【夏野菜の栽培管理】

- トマト
- ：小枝の摘心
 - ：花芽と芯の間隔が短い→成長が悪い→肥切れ
 - ：色合い→黄緑→肥切れの兆候
 - ：夏場炎天下では葉を大事にする→日光直射により実が割れる
 - ：深根性なので→追肥は→20 cm くらい穴を掘り、追肥ひとつかみを入れドロを戻す。



- きゅうり : 地温が上がりすぎないように、藁を敷く
- きゅうり : 芯止めが必要（小吊るは残す）
- きゅうり : 朝取りがうまい（瑞々しい）
- きゅうり : 自分で受粉する
- かぼちゃ : 朝9時くらいまでに受粉の手伝いをしてあげる（雄花をちぎって雌花に・・・）
- かぼちゃ : 第一果を大きくすると、それ以後の第二・第三実が大きくなる
- かぼちゃ : つるの先端が持ち上がっている株は元気の良い証。
- かぼちゃ : 連果は避ける
- スイカ : 同上
- スイカ : つるは4本仕立て
- なす : 3本仕立て（V字仕立て）
- なす : 脇芽を取る
- なす : 地温が上がりすぎないように、藁を敷く（浅根性）
- とうもろこし : 雄花が出たら追肥。
- とうもろこし : アワノメイガに注意。発生する前にデナポン散布。万が一発生した場合は手で駆除。



【裏技】

○畑に溝を掘り、雑草・収穫残の野菜くずを入れ、糠を混ぜビニールで覆う。

- ・発酵により温度を上げ→雑菌・草種死滅の効果あり

【水取り】時間帯

- ・夏季の水取りは夕方（なるべく遅い時間）が好ましい・・・日中はお湯になってしまいます。
- ・ホース内の水温が上がっているの、冷たくなってから散水

【中耕】

- ・中耕と同時に追肥を施し、手鋤等で作物の根に影響しない程度に軽く耕す。
- ・同時に追肥を施す。

【土づくり】

- ・土壌改良・・・堆肥・石灰散布→耕運
- ↓ 最低1週間・・・土になじませる
- ・肥料散布・耕運
- ↓ 最低1週間・・・土になじませる

・植付・・・したがって植付の2週間前くらいから準備作業が好ましい

【その他】

・キャベツは決定的に不作でした。(NPO)・・・肥料が足りなかった

4-4 7月イベント「楽しい農業体験&勉強会」

比津町まちネット市民農園開園式

日程：平成23年7月23日（土） 10：00～10：20

会場：比津町まちネット市民農園（松江市比津町375）

主催：NPO法人まちづくりネットワーク島根

出席者：以下のとおり

来賓

島根県農林水産部農業経営課 農地利用促進グループ	グループリーダー	重本 聡氏 荒木 淳宏氏
島根県環境生活部NPO推進室	室長	吉山 修氏
松江市産業経済部農業企画課	課長	加村 修二氏
比津町町内会長		引野 憲一氏
地権者		引野 正子氏 小数賀 謙二氏

その他出席者

(株)松浦造園、(有)宝箱	桐田 司
まちづくりネットワーク島根	理事長 山本 謙 理事 森山 洋光、黒田 謙介 柏井 光、庄司 努 岩田 康孝、竹下 康人

【開園式の様子】

1、開会挨拶

島根県農業経営課GLの重本 聡氏と

まちネット理事長の山本 謙氏が挨拶をした。



楽しい農業体験&勉強会

参加者：23名（大人15名、子供2名、理事・事務局等6名）



【土壌に関して】

野菜を作るのには、まず「どろ（土壌）」づくりが大切。

→いい「どろ」を作るには3年くらいかかる。

日本のどろは酸性。

（野菜はアルカリ性を好むので、石灰を入れて土壌改良を行う）

■Ph（水素イオン指数）

酸性	2	野菜ではないがブルーベリー等は酸性土壌を好む
↑	3	その他、酸性で生育する野菜・・・
↑	4	じゃがいも、スイカ、サツマイモ、インゲン、大根・・・
↑	5	
↑	6	
中性	7	通常野菜が好むのは pH6.5 前後。きゅうり、ナス、ピーマン・・・
↓	8	特に酸性を嫌うもの ほうれん草、玉ねぎ、ごぼう・・・
↓	9	
アルカリ性		

■酸性土壌をどのように改良するか？

苦土石灰・・・農業用。有機石灰。天然、高額→効きは遅い。

消石灰・・・安価、よく効く。→土を硬くする

30㎡に施す量→苦土石灰の場合、1㎡に200g→30㎡には6kg

※空山は、10kgを年2～3回使う。

石灰散布
堆肥
耕運
【放置】1～2週間
元肥
耕運
【放置】1～2週間
畝たて



※放置しないと、肥料を分解してしまう。

牛ふん 堆肥ではない。優しく、土壌改良効果あり。
鶏ふん 安価。石灰分が多い場合がある。効果は高い。
乾燥鶏ふん・・・使いにくい
発酵鶏ふん
豚ふん

【種まき・植え付け】

7月 にんじん、ブロッコリー、カリフラワー

8月 キャベツ、白菜

9月 大根、ほうれん草・・・空山では撒き遅れないよう注意！

※種まき用のプラグを使うと便利

培養土はまず水に混ぜてから使用（握って団子になるのがベスト）

★プラグに培養土を入れ

↓

一粒ずつ撒く

↓

覆土 種の大きさの2～3倍の土をかける。

ふるいを使ってもOK

☆発芽温度 20～25℃

☆日陰で高いところに置く（水を切るため）

↓

本葉が2～3枚出たら、畑へ。

【水取り】

種を直播 かなり頻繁に水取りが必要

双葉が出る 同上

本葉が出る 同上

【消毒】

野菜の苗が小さいうちは最小限の薬剤散布は不可欠

☆時期と使い方を間違えなければ安全。

→秋には（虫が弱ってきたら）、手で取る。

【付録】

■空山と比津では、高原と平地の差が出ます。

→種まきの時期が1週間程度差が出る。

4-5 8月イベント「楽しい農業体験&勉強会」

日 程：平成 23 年 8 月 27 日（土）9：00～12：00

会 場：大庭空山まちネット市民農園

参加者：38 名（大人 30 名、子供 2 名、理事・事務局等 6 名）



【秋冬物の野菜の植え付けの本番】

9・10・11月に収穫を楽しむのなら、今(暑い時期)畑の準備が大切です。

秋どれじゃがいも：今が植え時 あまり散水の必要なし

品目	空山	比津	薬剤	水やり
秋どれジャガイモ	今が植え時			あまり散水の必要なし
青首ダイコン	8 / 下旬	9 / 5～10頃	スターガード	毎日散水要
白首ダイコン		9 / 5～10頃		
聖護院ダイコン	8 / 下旬	9 / 上旬	スターガード	毎日散水要
ブロッコリー	定植 8 / 下旬～苗 9 / 上旬		スターガード	毎日散水要
ハクサイ	8 / 中旬	9 / 5まで	スターガード	毎日散水要
タマネギ	9 / 5～9 / 25まで			毎日散水要
キャベツ	定植 8 / 中旬～苗 9 / 上旬		スターガード	毎日散水要
干しねぎ	8 / 中旬～9 / 中旬			あまり散水の必要なし

★1、「スターガード」は浸透移行性農薬。2週間くらい効果が続く。

★2、空山は平地より若干早目が良い(寒くなるのが早い)。

【本日の講習】

■秋どれジャガイモ

土寄せが必要→畝幅を広く取る。30～35 cm間隔で定植。イモの2倍の土をかける。

水はあまりやらなくてもOK。

芽が伸びすぎの時は芽をこぐ。

■ダイコンの播種

糸巻き種 間引きの手間が少ない

直播 間引きの手間が多い

- ・青首ダイコンは早く播くと太くなる
 - ・冬伝説ダイコン 収穫が遅いので、9/20以降に播く
- ※オルトランが必要！

肥料は三要素をバランスよく。肥料が少ないと辛くなる

■干しねぎ（九条ねぎ）

鍋物には最適でした（昨年実績）

水はあまりやらなくてもOK。10～15 cm間隔で寝かすように定植。

■土づくり

化成肥料＝即効 ⇔ 有機質肥料＝長く効く

- 窒素…葉に効く いたずらをするが、とても重要。
- リン酸…実に効く
- カリウム…根に効く

★肥料計算早わかり表

葉物	8 kg / 1 0 0 0 m ² (成分値)	} おおよその目安
果菜類	1 5 kg / 1 0 0 0 m ² (成分値)	
《一区画》		
葉物	2 4 0 g / 3 0 m ² (成分値)	
果菜類	4 5 0 g / 3 0 m ² (成分値)	

※肥料袋に書かれている成分割合（％）から肥料の必要な分量を計算

（必要な分量）÷（肥料の含有率【小数点表示】）＝必要量

例) 1 0 : 1 0 : 1 0 の肥料の場合

3 0 m² 2 4 0 g ÷ 0. 1 （1 0 % の小数点表示）＝2 4 0 0 g

例) 1 5 : 1 5 : 1 5 の肥料の場合

6 0 m² 4 8 0 g ÷ 0. 1 5 ＝3 2 0 0 g

【参考】

早生…早く傷む 晩生…保存がきく

4-6 9月イベント「楽しい農業体験&勉強会」

日 程：平成 23 年 9 月 24 日（土）9：00～12：00

会 場：大庭空山まちネット市民農園

参加者：25 名（大人 16 名、子供 2 名、理事・事務局等 7 名）



【本日の講習】

■葉物野菜の管理

ハクサイ：今から種を播くのはNG。苗を買う。

植えてから結球するまでが重要。

台風の後などは中耕する→土をやわらかくする→水が根に届く

※日本で一番の生産地＝長野県 今回の台風ではレタスも被害

ブロッコリー：鳥取県西部では台風の被害あり→苗が水に浸かってしまった

雨が大量に降る→肥料が流れる→様子を見て追肥

※天候回復 2～3 日後に元気の無い時は、発根促進剤などで対応する

キャベツ：ハクサイ、レタスに比べると強い。

初期が重要。暖かいうちに施肥。秋播きは、春に肥料をやる。

※大生産地は愛知

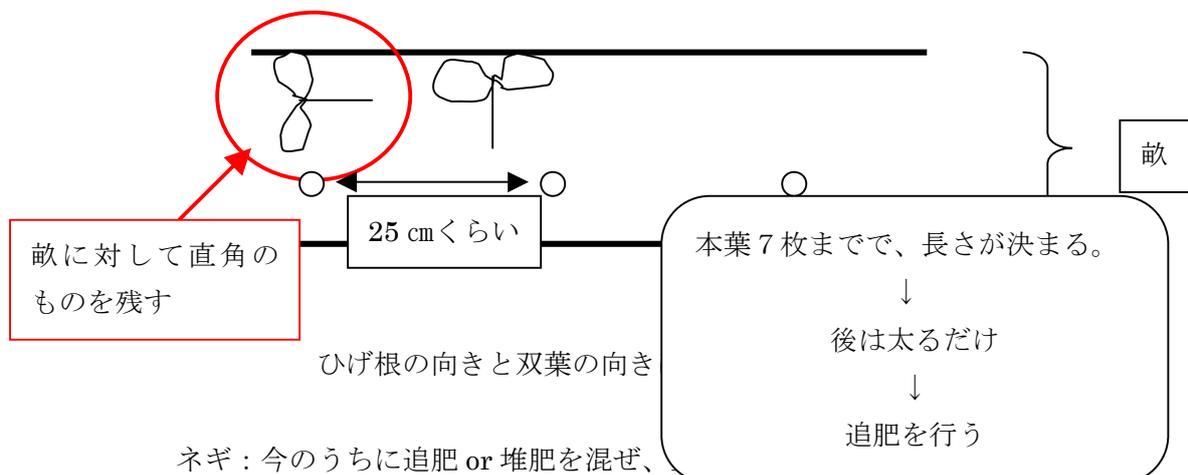
レタス：産地は長野県

ジャガイモ：4～5 本芽が出ている時は、残りが 1～2 本程度に芽を摘む→土寄せ

ダイコン：間引きを行う。株間を意識。

①双葉が出た時に、まず間引く。②本葉 2～3 枚で再び間引く。

悪いもの、変形しているものを抜く。



ネギ：今のうちに追肥 or 堆肥を混ぜ、

ホウレンソウ・小松菜：冬がおいしい野菜。10月種まき、12月収穫

ホウレンソウは、収穫直前に土の表面から5cm位のところに鎌を入れ、

そのまま1～2日置いて収穫すると、甘さが乗る。水がすえなくなるので甘みが凝縮される

【害虫に関して】



《根切虫》

作物の根をかじる。見つけたら、手でつぶす。



《夜盗虫》

土を2～3cm掘ると、幼虫がいる
ダイアジノン、オルトランを撒く



《》

《コオロギ》

根際を食べる害虫。

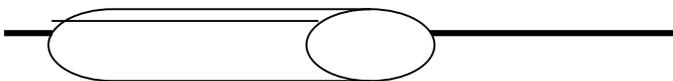
駆除にはデナポンを使用→皿にデナポンを入れ、畑の端に置く。9月を乗り切るといなくなる。

《ヤサイゾウムシ》

芯を食べ散らかす。

① 夜盗虫と同じ対応。

② 塩ビ管に切れ目を入れて、土の中に埋めておくと落ちる



【質問タイム】

《ちっちゃいコガネムシがいるが・・・》

→ダイコンサルハムシ



「ポロンク」を使用

使用済みのストッキングなどにポロンクを入れ、天花粉をつけるように軽くはたきながら散布

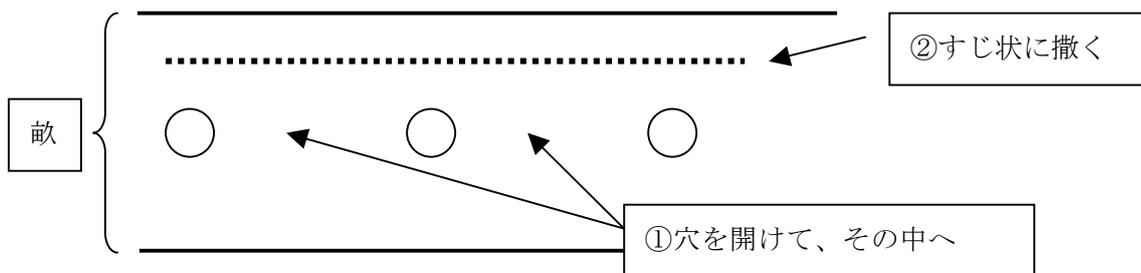
《追肥のやり方》

元肥はゆっくり効くものを。

肥料は、少量を長期間に渡ってやるほうが良い。

追肥は、早めに効くものを使う。→アンモニア態窒素の数字の少ないものほど速く効く。

★春は、株と株の間に穴を開けて撒いたり、すじ状に撒いたりする



★秋は株の周り（畝の上）にパラパラと撒く。

《ニンジンの撒き時期》

7月下旬～9月上旬（ベストは8月下旬まで）

発芽の最適温度は20～25℃なので、夏場は温度が高すぎる

発芽までは水を切らさないようにする

e x : 中海干拓ではスプリンクラーを使用

《ハウレンソウの撒き方》

種の種類はプライマックス種子（種に傷がつけてある）。

畑に直接撒き、水を切らさないようにする。

これから撒く場合（冬に収穫）は、特に意識しなくても良い。

《サツマイモの保存方法》

濡れている場合は一日乾かす→泥を落としてひとつずつ新聞紙にくるむ→冷蔵庫に入れる時は5℃以上の場所に。

★ベニアズマ：掘りたてから甘い。保存が利かない。

★ナルトキントキ：掘りたては甘くない。保存してから（2～3ヶ月）食べる。

e x：かぼちゃ ホクホク→ネッチョリ→腐る

甘い芋も一緒

《ニラ》

花：つぼみの状態では食べることができる。それ以上になったら切る。

《かぼちゃ》

秋植えて、雌花が少ない→脇芽がいっぱい→脇芽を取る

e x：シロカボチャ 11月以降に食べる

ヒョウタンカボチャ 早めに食べる

この後、参加者全員でサツマイモの収穫をし、焼き芋をして採れたての味を楽しみました。

4-7 10月イベント「楽しい農業体験&勉強会」

日 程：平成 23 年 10 月 22 日（土）9：00～12：00

会 場：大庭空山まちネット市民農園

参加者：23 名（大人 11 名、子供 3 名、理事・事務局等 9 名）



【本日の講習】

■秋・冬野菜の栽培・管理（畑を見回りながら）

ダイコン：9月末に撒いたものはちょっと遅い。

トンネルを外すか、高さを高くする。

軟腐（ナンブ）病が発生→葉の付け根が腐る。傷口があると発生。腐ったような匂いがするが、これからは発生しない。発生したものは抜き取る。

ホウレンソウ：ホームセンターの種は、発芽後に生育にバラつきがある。

もう少し大きくなってから、草押さえと中耕（条間）をする。さらに追肥。

ハクサイ：肥切れさせない。2～3回追肥を行う。→葉ばかりが出る時は追肥のし過ぎ（でも肥料過多でも大丈夫・・・）。

ブロッコリー：少し遅れ気味。頂花蕾が出来る頃に追肥を行う（遅れないように）。

ネギ：九条ネギは分けつするが、白ネギは分けつしない。九条ネギを収穫する時は、白い部分と緑の部分の境目で獲ると次がまた生えてくる。ネギ坊主が出来たら取る。

ダイズ：実が入らないものは、花の時期に水が不足。高くなりすぎる時は、頭を落とす。

かぼちゃ：11月中旬頃収穫。茎の付け根に横に筋が入ったら完熟。完熟前に収穫すると、早くいたむ。

ミズナ：葉物の間引きは15～20cmなら問題ない。

青梗菜：最終株間は7～8cm。

ソラマメ：冬を越すには本葉が5枚程度→芽を摘んでも春には脇芽が出てくる。

■サトイモの収穫・保存に関して

原産地・・・東南アジア→寒さにあたると腐る。乾燥もNG。

- 1) 掘り出した株をそのままの状態ですべて逆さまにし、どろに埋める。
- 2) 新聞紙にくるんで保存

■皆さんからの質問

籾殻を畑に使用したいが、ガスは発生するか？→籾殻はほとんど発生しない。米ぬか・油かすはガスが発生する。

4-8 11月イベント「楽しい農業体験&勉強会」

日 程：平成 23 年 11 月 26 日（土）9：00～12：00

会 場：大庭空山まちネット市民農園

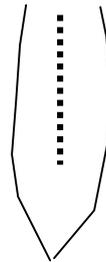
参加者：14 名（大人 9 名、理事・事務局等 5 名）



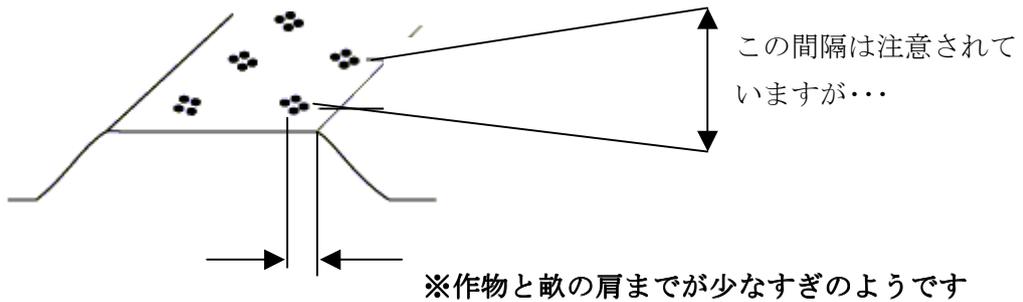
【本日の講習】

■ダイコンに黒い芯が出来るのは何故？

聖護院ダイコンの芯が黒い症状はホウ素欠乏症
（普通のダイコンでも同じです）



■農園利用者全般的に畝幅が狭いように思えます。

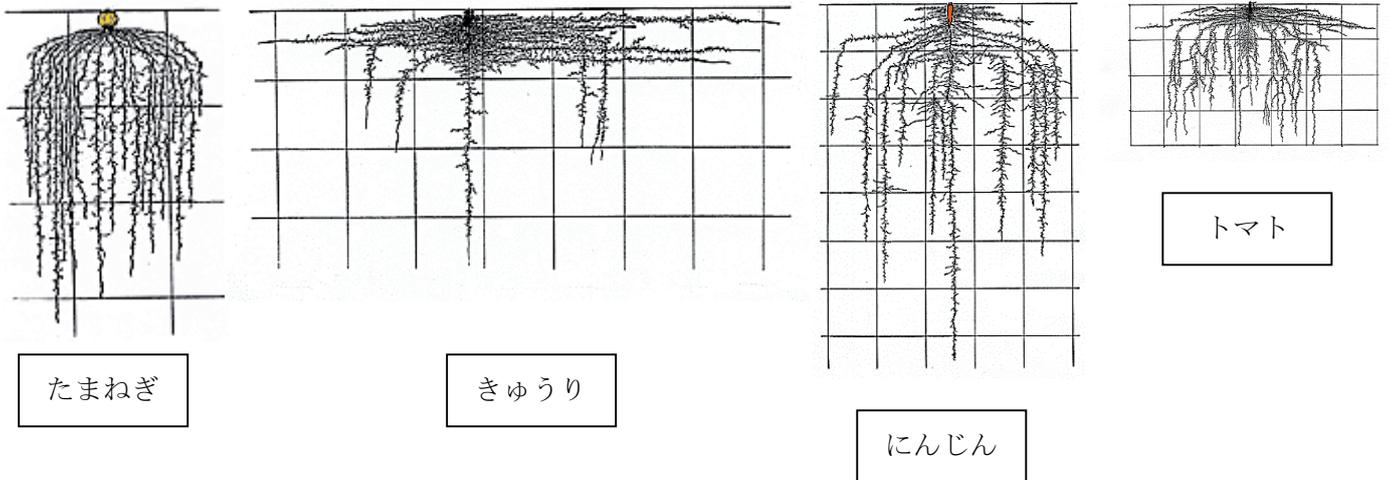


■ハクサイの農薬

フェニックスが最適



■作物によって根の張り方が違います。



ずいぶん昔、外国でウェーバーとブラナーをいう人が、4種類の野菜の根の広がり調べてスケッチしました。その図を見てみましょう。図の目盛りは1フィート（約30cmです）。

→この絵を見てもわかるように、結構横に根が張っています。よって、畝の肩が少ないとよろしくありません。

■皆さんの畑を廻って

《たまねぎ》

2月までに肥料をやらないとのぼる（花が咲く）。

→対策：1月に1回追肥 or 一発肥料

今年は暖かい→べト病発生

虫の大量発生→フェニックスが最適

止め肥え 早生：3月上旬 中手：3月中旬 晩生：3月下旬

1m幅で4~5条植え。2本植わっているものは間引く。

《ダイコン》

「す」が入る

花を咲かせようとして、栄養を葉に集中していく。現状のままで良いが、土から出ている部分から腐る。もう少し寒くなってから、抜いて葉を落としてドロに埋める。→「冬自慢」という品種は雪に強い。

《ブロッコリー》

収穫をした後、追肥。株間30~35cm。脇芽をしっかり採る時は40cm。

《ハウレンソウ》

冬場は密植OK。夏場は7~8cm。冬場は3cmの株間。

今の時期は、芽が出ていればOK。

《ネギ》

土から出たところが硬い→土寄せを行う。

畝の上に植えずに下に植え、ドロを上からかける方法もある。→白ネギ

《高菜》

外葉から収穫。芯を残す。

《ニンニク》

追肥の必要は当面なし。春になってから追肥。

《カブ》

雪が降る前に収穫してしまう。

葉の色が濃すぎるものは、肥料が多すぎて分解できていない。

《ニンジン》

雪が降る前に収穫。ダイコンと同じように葉を取ってドロに埋めて保存可。

《ソラマメ》

芽を出した後、葉の先端が黒くなる→次に出てくる葉も黒い場合は何か病気。

小さい葉だけの時は、乾燥しすぎが原因→広がるかどうかを観察。→症状の出た葉が問題なければ、その葉を落とす。

《ラッキョウ》

間隔を詰め気味でもOK。

《ハクサイ》

早生は早く食べる。晩生は上を絞る(ワラ・・・)→雪が入ってくることを防ぐ(今の時期でOK)。

《イタリアンキャベツ》

ブロッコリーに似ている。ロールキャベツなどの煮込み料理に最適。



《エンドウ》

大きくなりすぎたものは、本葉を5枚くらい残して切る。芽を止め越冬させる。

《ミニダイコン》

株間を広げると大きくなる。

《スティックセニョール》

葉を食べるタイプのブロッコリー



《イチゴ》

ランナーを切って一人立ちさせる。冬収穫する場合は、夜7時位まで電照をかける。

e x : この時期、ハウレンソウに花が咲く場合は、近くにGSのような夜間光を出すような施設がないか確認。

《レタス》

寒さに弱いので、結球したらすぐ収穫する。

《菜花》

葉はこがずに、花芽を食べる。

《ジャガイモ》

上が枯れたら収穫。

《キヌサヤ》

植える場合は、高く伸びるので場所を工夫。育ちすぎているものは途中で切ってしまう。

e x : チッ素過多→ホウ素欠乏→カルシウムも吸えない

《焼き芋》

60~70度でじっくり焼くと美味しい。

※来年の勉強会は・・・

現在の畑をどう維持するか。

微生物の投入→畑にも悪い菌が増えるので、良い菌を入れてバランスをとる。

4-9 社員研修

(有) 安藤農園取締役専務 渡部旭氏を講師に迎え、社員研修を実施

日 程：平成 23 年 6 月 23 日（木）13：00～17：00

平成 23 年 7 月 4 日（月）13：00～17：00

平成 23 年 8 月 21 日（日）13：00～17：00

会 場：まちづくりネットワーク島根事務所及び中海干拓地安藤農園

参加者：3 名（社員指導担当 1 名、社員 2 名）

【研修内容】

●平成 23 年 6 月 23 日（木）



【市民農園の安全管理】

利用者が農園で作業中に、怪我や病気などになった場合に備え、緊急連絡先を確認しておくことなどを指導いただいた。

【土壌に関して】

	肥料の持ち	水はけ	味	p h
砂	△	◎	△	4～5
粘土	◎	×	◎	2～3
黒ボク	○	○	○	4～5

野菜にベストな p h 値は 6～6.5

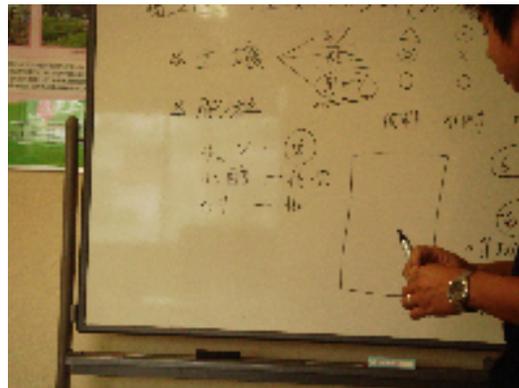
一般的に、土壌は酸性が強いので、石灰資材を入れる。

消石灰 60%

苦土石灰 50%

有機石灰 40%

●平成 23 年 7 月 4 日 (月)



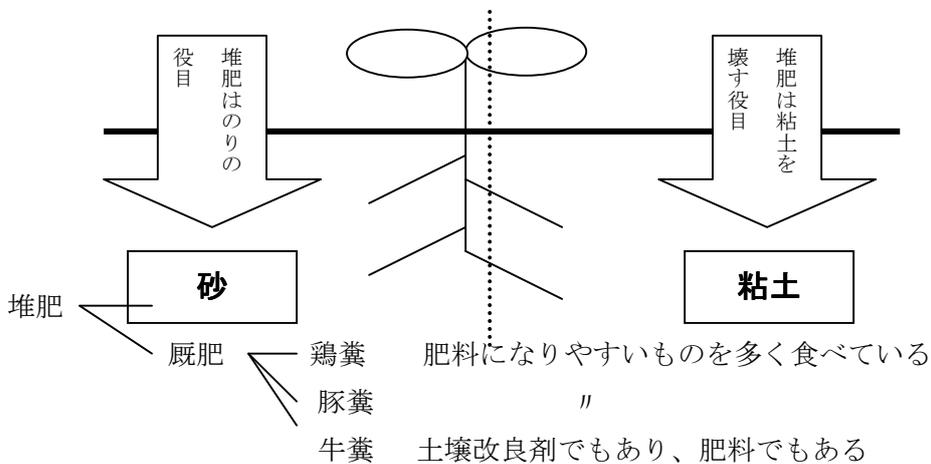
【肥料に関して】

- チッ素 (N) → 葉
- リン酸 (P) → 花・実
- カリウム (K) → 根

【堆肥】

チッ素、リン酸、カリウムが存在
落ち葉・籾殻などを腐らせて作る

※堆肥は肥料ではない→土壌改良に使うもの



【新しい畑を作る場合】

- ①土壌改良 石灰
↓
堆肥
- 石灰は肥料を吸収する可能性がある
- ガスが発生し、根を燃やす
- ②肥料
- ③種まき・苗植え

初心者の方には、日記を書いてもらうこと！

●平成23年8月21日（日）



【農園利用者】

指導・助言に関して

- ・農園利用者は、大半が初心者
- ・最初に成功するとリピーターになる
- ・会話が大事

【農園管理】

除草

- ・除草は小さいうちに

環境

- ・利用者畑間(通路)の整理・管理

隣地とのトラブル

- ・自分の畑から発生する野菜くず、雑草等を捨てない

畑から出る野菜くずに関して

- ・野菜くず、雑草は自分の畑で処理（米ぬか、油かすの混在で良い肥料）

【露地栽培とハウス栽培の違い】

太陽光(紫外線)

昔食べたトマトはもっと匂いがした
自然水(雨水)と水道(農業用水、上水)

酸性雨が多い

交配

受粉・交雑

病害虫

害虫からの回避

作業の難易度

高温時の作業

雨水の取り込みが無い→定期的に散水作業

天候障害

いつでも作業できるが

季節感

季節を問わず

【机上の論と実践】

現場での戸惑い

豊富な経験

体感する気温と適切な処置(作業)

察知能力

4-10 市民農園維持管理作業（開園後の作業）

【日常管理】

1. 貸出決定区画の耕運作業

本市民農園用地には、もともと葛・スギナ等が多く繁茂しており、初期耕運作業後も放置しておくとうすぐに生えて来た。貸し出しの決定した区画から、除草を兼ねた耕運作業を行った。

【施設整備】

1. 農機具簡易倉庫の設置

農園利用者の使用する農機具（まちネット所有）の格納庫として、非常に軽微では在るが整備し、利用者に自由に使ってもらうこととした。



利用者区画間の作業通路の中央に排水路として整備した。

■地域の農家より資材供給を受け、農園利用者で利用する。（稲わら・すくも）

5 広報

5-1 イベント参加

■2011 松江市環境フェスティバル

日 程：平成 23 年 9 月 18 日（日）

会 場：くにびきメッセ

来場者：6000 人（主催者発表）



『江戸（むかし）からつながるエコに学ぶ～「もったいないを学ぶ」～』をテーマに開催された「2011 松江市環境フェスティバル」にブース参加。パネル展示と合わせ、アイポケを持って来場された方にエコポイントを付与。

■やすぎ環境フェア

日程：平成 23 年 9 月 25 日（日）

会場：安来市体育館

来場者：1000 人

今年初めて開催された「やすぎ環境フェア」に出展。パネル展示と合わせ、エコポイントの付与。



【朝日新聞島根版、asahi.com（平成 23 年 8 月 12 日掲載）】

Stop 放棄地／NPOが市民農園

2011年08月12日



耕作放棄地を整備してオープンした「比津町まちネット市民農園」。市街地から近いことも魅力の一つという＝松江市比津町

NPO法人による市民農園が、松江市にオープンした。耕作放棄地の増加に歯止めをかけるのが狙いで、農家に代わって農地整備や開園手続きなどをした。取り組みを支援する県も期待を寄せている。

◆整備・耕作勉強会開く◆

オープンしたのは、比津町の「比津町まちネット市民農園」。松江市のNPO法人「まちづくりネットワーク島根」が22区画(1区画30平方メートル)を用意した。利用料は年間9千円。

2年前には、援農活動として大庭町の休耕地約6千平方メートルを整備。昨年8月に一部を市民農園としてオープンさせている。

市民農園の開設は、自治体や農協に限られていた。2005年の特定農地貸付法改正で、農地所有者やNPOなども開設できるようになった。そこで、「まちづくりネットワーク島根」が農家の負担になっている荒れ地の整備を引き受け、開設の申請手続きも代行することにした。農業未経験者の勉強会も開くなど、きめ細かい対応が特徴だ。

今回の比津町の農地の一部を所有する会社員小敷賀謙二さん(47)は「休日だけでは農地に手をかける余裕が足りない。農地として利用してもらえるのはありがたい」、同様に所有する近くの主婦引野正子さん(69)も「雑草が伸び放題だと周囲の農地に迷惑がかかる」とオープンを歓迎する。

県農業経営課によると、県内の耕作放棄地は6843ヘクタール(昨年度)。低木などが成長し、山林と見分けがつかない農地も多い。このため雇用創出協働事業として農地整備費の一部を助成している。担当者は「利用者のニーズに合うものを提供できるかが重要。NPOによる市民農園は放棄地に歯止めをかける有効な手段の一つ」と期待を寄せる。

法人理事の黒田謙介さん(64)は「利用者が作業のコツを教え合ったり、弁当持参で家族と来たり。楽しんでいる姿を見るのがうれしい。より魅力的な農園にしたい」。問い合わせは、まちづくりネットワーク島根(0852・20・1821)へ。(大久保直樹)

【農業共済新聞（平成 23 年 11 月 2 日掲載）】

